



学費はココナッツで 困った学生のために

心 あ つ た か ニ ュ ー ス

インドネシアのバリ島ギヤニヤールにあるホスピタリティプログラムを提供するヴィーナス・ワン観光アカデミーが、今年の3月よりユニークな学費納付方法を展開しているということです。新型コロナウイルスの影響で経済的困窮に陥っている学生を考慮し、学費をココナッツで納付することを許可する救済策を打ち出した。納付されたココナッツでヴァージンココナッツオイルを採取し、それを販売するという。また学生はココナッツだけではなく、食用に用いられているモリンガの葉やハーブの一種であるゴツコラでも学費として納付することができると。これらはハーブ石鹸の材料となり、石鹸を販売することにより学校運営の資金を生み出すそうだ。同校責任者のワヤン・パセック・アディ・プトラさんは、学費は最初に全体の50%、2回目に20%、3回目に30%といったように、3段回に分けての納付となつて

いました。しかし新型コロナウイルスの影響もあり、柔軟に対応することに決めました」と今回の納付方法に至った経緯を明かした。さらにワヤンさんは、「私たちは学生に周囲の環境を最大限利用することを教える必要があります。そうすることにより、学生たちは様々なスキルを持つてホスピタリティの世界を学ぶことができず」と学生のスキル向上にも役立つと話している。今アイブドアニュースより）
詰め込みの勉強だけでない、実践型で人のためになること、とても重要だと思えました。

手をつないで救助

イギリスの海岸で今年の夏、男性が泳いでいる最中に沖へと流されてしまった。岸にいる人たちが助けを求めた。気づいた人達が列を作つて次々と手と手をつなぎ始め“人間による救助ロープ”がそこに出る。その後も救助の様子に気付いた

人々が駆け寄り、“人間ロープ”に次々と加わりだした。およそ30人が救助のため手をとり合い沖に流された2人を無事救助することに成功したのするとビーチでは、様子を見守っていた人達から拍手が沸き起こった。ライブドアニュースより）

編集後記

今大切なことは、助け合いなのだ。とあらためて思えたニュースでした。今助け合うには、ちよつと知恵もいるようです。環境をいかすとか、使えるものは使う。その形はまさに手と手をつなぐことが象徴しているように思えました。私達はそれができる生き物です。